

平成 30 年度積雪期登山基礎講習会開催要項

1 目 的

高等学校・高等専門学校の登山部等で指導する教職員等を対象として、積雪期登山に必要な基礎的な知識や技術の習得を目指す。

2 主 催

独立行政法人日本スポーツ振興センター

3 共 催

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
公益財団法人全国高等学校体育連盟

4 後 援

スポーツ庁

5 期 間

平成 31 年 2 月 9 日(土)～2 月 11 日(月・祝)の 3 日間

6 会 場

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所及び周辺山域
〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂6 TEL(076)482-1212 FAX(076)481-1534

7 応募資格・募集人員等

(1)応募資格

所属団体の所属長等(教育長、大学長、学校長、会長等)が推薦する、

ア 高等学校・高等専門学校の登山部等で指導する教職員等

イ 小学校・中学校等の野外活動を担当する教職員

ウ 大学の登山活動を行うクラブやサークル等で指導する監督、コーチ、顧問等

エ 都道府県・市区町村の野外活動担当者及び地域・職域における登山の指導者

オ 都道府県山岳連盟(協会)等で指導的立場にある者

カ 地域・職域等における登山クラブ(グループ)のリーダー・指導者

キ 登山用具店の担当者、登山教室等の企画や指導に携わる者

(2)募集人員 30 名

8 研修会の日程及び内容

日程	内容	研修場所
2 月 9 日(土)	受付 12:30～ 開会式、講義、班別研修、班別協議	国立登山研修所及び周辺山域
2 月 10 日(日)	総合研修、班別研修、研究協議	国立登山研修所及び周辺山域
2 月 11 日(月・祝)	総合研修、班別協議 閉会式 解散 15:30 頃	国立登山研修所及び周辺山域

※詳細な日程及び内容は、国立登山研修所ホームページ

(<https://www.jpnpsport.go.jp/tozanken/syusai/tabid/167/Default.aspx>)で確認してください。



9 個人装備

国立登山研修所ホームページを参考にしてください。参加承認者には後日個人装備表を送付します。

10 参加申込方法

(1) 所属団体の所属長等(教育長、大学長、学校長、会長等)が以下の書類をそろえて参加希望者を推薦し申込をしてください。

提出書類	備考
(ア) 積雪期登山基礎講習会の開催について【別紙1】	所属団体の代表者が記入してください。※推薦者の公印が必要です。
(イ) 参加希望者個人票【別紙2】	
(ウ) 登山指導歴書【別紙3】	
(エ) 健康・体力調査票【別紙4】	
(オ) 参加確認書【別紙5】	参加希望者が署名、捺印してください。 参加希望者が成年の場合は本人のみが署名、捺印してください。
(カ) 返信用封筒(参加希望者宛)	必ず長形3号封筒を使用し、宛名の面に郵便番号、住所、氏名を記入し140円切手を貼付してください(参加希望者全員分を同封してください)。
(キ) 返信用封筒(推薦者宛)	必ず長形3号封筒を使用し、宛名の面に郵便番号、住所、宛先名を記入し82円切手を貼付してください(1通のみ同封してください)。

※申し込み提出書類の様式は、国立登山研修所ホームページからダウンロードできます。

(2) 申込先 独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂6 電話(076)482-1212 FAX(076)481-1534

(3) 申込期間 平成30年12月10日(月)～平成31年1月9日(水) 必着

(4) 承認通知発送予定 平成31年1月中旬を予定

11 参加者の決定

(1) 国立登山研修所で参加申込書類をもとに選考の上、参加者を決定します。

(2) 参加の可否については、推薦者(所属長等)と参加希望者双方に通知します。

(3) 参加承認者には日程表、個人装備表、健康診断書(当所指定の様式に限る)、保険申込書、事前課題等の提出物を同封します。

※健康診断書の提出に必要な経費は参加者の負担となります。

12 参加費用

(1) 国立登山研修所における施設利用料(前後泊含む全日程分) 1,500円

(2) 国立登山研修所における食費1食分(昼食700円×1食) 700円

(3) 傷害保険料 3,000円または4,000円 ※参加者で選択
(公務災害で対応される方は保険申込の必要はありません)

(4) 諸費用(集合写真代) 930円

(5) 幕営講習中の食費4食分、燃料等購入費 約4,000円

※参加費用は受付時に集金します(現金に限る)。なお、金額は変更する場合があります。

※講習2日目の昼食はありません。行動食を参加者で準備してください。

13 参加申込の取り消しについて

参加申込後、何らかの理由によりやむを得ず申込を取り消す場合は、必ず推薦者(事務担当部署)から国立登山研修所に申込取り消しの理由等を連絡してください。

※参加希望者本人から直接国立登山研修所への申込取り消しは受け付けません。

14 その他

・研修会に際し、報道機関の取材・撮影が入る場合があります。

平成 30 年度積雪期登山基礎講習会基本コンセプト等（予定）

1 基本コンセプト

～ 雪に親しむ ～

- 「雪山を歩く」「雪山で生活する」「雪を知る」「雪山での危急時対策」を実践的に体験し、積雪期登山のリスクを知る。
- 積雪期登山の基礎技術の指導方法を習得する。

2 研修内容

(1) 講義

- ア 「高校生を登山に引率するとは」(60分) 担当：大西浩
那須雪崩事故検証委員会報告書などについて
- イ 「冬山の気象」(60分) 担当：猪熊隆之
- ウ 「積雪と雪崩」(90分) 担当：飯田肇

(2) 実技

- ア 「雪山を歩く」
 - ・ 登山の準備（雪山でのレイヤリングなど）
 - ・ 歩行技術（つぼ足歩行、ワカン歩行、ラッセル歩行など）
- イ 「雪山で生活する」
 - ・ 登山の宿泊（場所の選定、整地、効率の良いテント設営及び撤収、雪洞設営、室内の整備と食料、炊事など）
- ウ 「雪を知る」
 - ・ 積雪調査、弱層テストなど
- エ 「雪山での危急時対策」
 - ・ 雪崩サーチ&レスキュー（デモンストレーション見学を含む）
 - ・ 搬送
 - ・ ビバーク
など

3 講師（予定）

- 主任講師：渡邊雄二（国立登山研修所アドバイザー）
- 副主任講師：大西浩（全国高等学校体育連盟登山専門部常任委員）
- 講義講師：飯田肇（(公社)日本雪氷学会・立山カルデラ砂防博物館学芸課長）
猪熊隆之（株式会社ヤマテン代表取締役）
- 実技講師：旭立太（飛騨山岳ガイド協会）
天野和明（ICI石井スポーツ）
石際淳（岐阜テレマーク倶楽部）
笹倉孝昭（日本プロガイド協会）
佐藤勇介（G登攀クラブ）
島田和昭（日本プロガイド協会）
瀬木紀彦（飛騨山岳会）
山下勝弘（JAGU） 他2名

4 参加対象者 ※教職員以外の方も参加することができます

- 所属団体の所属長等（教育長、大学長、学校長、会長等）が推薦する、
- ア 高等学校・高等専門学校の登山部等で指導する教職員等
- イ 小学校・中学校等の野外活動を担当する教職員
- ウ 大学の登山活動を行うクラブやサークル等で指導する監督、コーチ、顧問等
- エ 都道府県・市区町村の野外活動担当者及び地域・職域における登山の指導者
- オ 都道府県山岳連盟（協会）等で指導的立場にある者
- カ 地域、職域等における登山クラブ（グループ）のリーダー・指導者
- キ 登山用具店の担当者、登山教室等の企画や指導に携わる者

平成30年度積雪期登山基礎講習会日程表(予定)

	2月9日(土)	2月10日(日)	2月11日(月)	
	プログラム 研修予定場所等	プログラム 研修予定場所等	プログラム 研修予定場所等	
5		起床	起床	5
6		朝食(テント内で炊事)	朝食(テント内で炊事)	6
7		班別研修	班別研修	7
8		講義② 「積雪と雪崩」 講義室 担当:飯田肇 (7:30~9:00)	・歩行技術 ・雪崩サーチ&レスキュー ・搬送 ・ビバーク 等	8
9		雪崩サーチ&レスキューデモンストレーション 担当:実技講師		9
10		班別研修		10
11		・歩行技術 ・雪崩サーチ&レスキュー ・搬送 ・ビバーク 等	装備の整理・整備 装備の返納 昼食 食堂	11
12				12
13	受付 事務室前 開会式 写真撮影・オリエンテーション	※積雪調査講習(各班順次指導を受ける) 担当:飯田肇	講義③ 「冬山の気象」 講義室 担当:猪熊隆之 (12:00~13:00)	13
14	講習会の実施にあたって 担当:渡邊雄二		班別協議 研修の振り返り・研修内容の整理等	14
15	講義① 「高校生を登山に引率するとは」講義室 担当:大西浩 (14:00~15:00)		全体協議 「班別協議の報告とまとめ」 講義室 担当:大西浩	15
16	班別研修 ・登山の準備 ・登山の宿泊 等		諸連絡(15:00~)・清掃 (講師打ち合わせ会15:00~)	16
17	・テント設営 ・炊事準備		閉会式 講義室	17
18	夕食 ・テント内で自炊 ・雪上生活技術 研修第1日目の振り返り 翌日の研修内容の確認	夕食 ・テント内で自炊 ・雪上生活技術 研修第2日目の振り返り 翌日の研修内容の確認 ※状況に応じてビバーク訓練実施		18
19				19
20	講師ミーティング	講師ミーティング		20
	班別研修	班別研修		
21	就寝 テント泊	就寝 テント泊若しくはビバーク		21